

2021年12月24日

報道関係者各位

株式会社 CyberZ

次世代運用型テレビ CM パッケージ 「TELEGMA for App」の提供開始

～アプリプロモーションに特化した分析と、分析後の
「実運用」までの一気通貫したサポートが可能に～

株式会社 CyberZ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山内隆裕）は、アプリプロモーションにおけるテレビ CM の放映において、効果可視化から運用調整までを一気通貫して実現可能にするパッケージ「TELEGMA for App」（Television Growth Marketing for App）の提供を開始いたします。

CYBER 

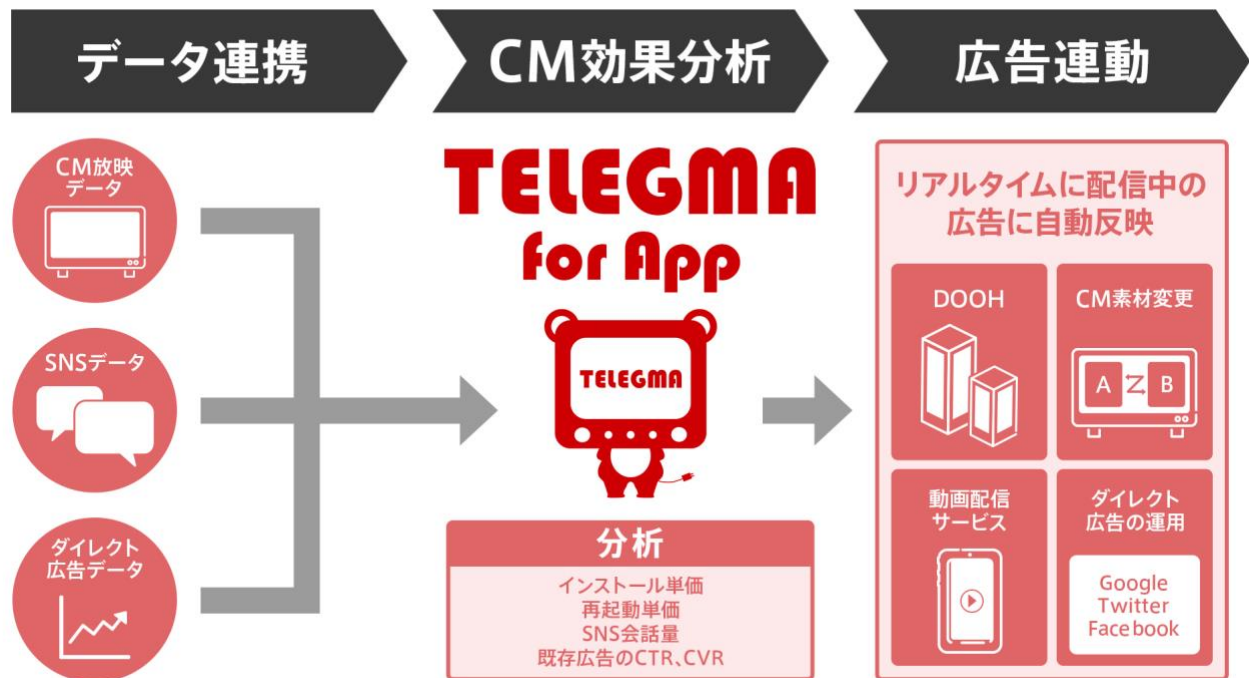
TELEVISION GROWTH MARKETING

テレビ CM は従来、費用対効果の可視化が難しい広告とされてきましたが、近年は運用型テレビ CM の考え方が広がり、新規ユーザーの獲得単価など、定量面での効果分析が進むようになりました。

一方、弊社が強みとしているアプリ広告の領域においては、テレビ CM を実施する場合、新規ユーザーの獲得以外にも、SNS 上でのエンゲージメントの醸成や、離脱ユーザーの復帰、既存のダイレクト広告の効率改善などを意図しているケースが多く、CPI（Cost per Install）以外の指標で、多角的にテレビ CM の効果を評価したいというニーズが高まっております。

またダイレクト広告においては、効果分析だけでなく、配信中の広告や配信面をリアルタイムで精査していく手法が一般的なため、テレビCMの効果可視化”後”に「実運用につなげられない」といった課題の声を多く頂いておりました。

そこで、アプリプロモーションを実施しているお客様に対し「分析」と「リアルタイム運用」による効果改善のご支援を続けてきたCyberZのナレッジを活かし、業界で初めて、アプリ領域に特化した運用型テレビCMパッケージを提供することとなりました。



具体的には、テレビCMの放映後に、Installの増分だけではなく、復帰起動数やSNS上での会話量増分の可視化、実施中のダイレクト広告への影響等、CPI以外の様々な粒度でのTVCMの定量評価を可能にします。

また、テレビCMの放映”後”についても、効果良好のCM素材を可能な限り最短のサイクルで放送予定のCMに差し替えるのはもちろん、オンライン動画サービスやデジタル屋外広告（DOOH）の運用に活用するなど、テレビCM以外の広告ともリアルタイムで連動させることで、分析結果に基づいた効果の最大化が可能になります。

当社は今後も「TELEGMA」の開発を通して、テレビCMの領域において、最良の「費用対効果」をお客様にご提供できるよう、継続的なアップデートを予定しております。

■CyberZについて

代表取締役社長：山内 隆裕 (<https://twitter.com/brother0820>)

スマートフォンに特化した広告マーケティング会社として2009年に設立しました。スマートフォン広告における運用・効果検証、交通広告やウェブCMの制作など、幅広いマーケティング事業を展開。日本に加えて、サンフランシスコ、韓国、台湾にも支社を構え、国内広告主の海外進出および海外広告主の日本展開支援も行っております。また、メディア事業としてゲーム動画配信プラットフォーム「OPENREC.tv」、eスポーツ事業として、国内最大級のeスポーツイベント「RAGE」を運営しております。CyberZ100%子会社としては、フィギュア販売やオンラインくじなどのオンラインエンタテインメント事業をおこなう「株式会社eStream」、eスポーツに特化した広告マーケティング事業「株式会社CyberE」の事業展開をしております。



■ 会社概要

社名株式会社 CyberZ

東京本社東京都渋谷区渋谷 2 丁目 24 番 12 号 渋谷スクランブルスクエア 23 階

代表者代表取締役社長 山内隆裕

事業内容スマートフォン広告事業、スマートフォンメディア事業、e スポーツ事業

URL <http://cyber-z.co.jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 CyberZ 広報担当：城戸

E-mail : press@cyber-z.co.jp Tel : 050-5490-9001 Fax : 03-5428-2318